

## (仮称) 川辺町将来投資会議 設置趣意書

私が町長として務めさせていただきました4期16年間で、約800人の人口が減少いたしました。1年に換算しますと毎年50人程度の人口が減少したことになります。

緩やかな減少カーブを描きつつある川辺町の人口は、平成27年の国勢調査では10,197人でありましたが、約80年後の西暦2100年には、7000人まで減少すると言う推計も出されている一方、別の推計では2,800人まで大幅に減少するとの驚愕な数字も発表されています。

この人口減少こそが、川辺町の最も重要な問題であり、喫緊の課題であると考えております。

この課題解決のために、『元気・高齢者・子ども・自然・防災』をキーワードに掲げ、これを丹念に各施策・事業に落とし込み、80年後に人口が7,000人を切るようなことは何としてでも食い止めたいと考え、その第一手、第一石、第一歩を踏み出して参ります。

その第一手とすべきが、比久見地内の工場跡地の有効活用だと確信しております。

川辺町の中心地であり、まちの顔でもあります「川辺ダム湖」に隣接する、この工場跡地の総合的な活性化策について検討するとともに、ここを起爆剤とした今後のまちづくりの方向性や事業手法等を検討するため、『(仮称)川辺町将来投資会議』を設置するものでございます。

川辺町が未来に向かって活力あるまちであり続けられるよう、皆様方のご意見、アドバイスを頂戴するとともに、お力添えをいただきますようご協力をお願い申し上げます。

平成29年6月19日

川辺町長 佐藤 光宏